

# 地質調査結果 (ボーリング柱状図)

## 1. 地点 R05-1

R05-1 ボーリング写真



# 土質ボーリング柱状図 (標準貫入試験)

調査名 令和5年度 次期広域最終処分場予備調査及び支援等業務

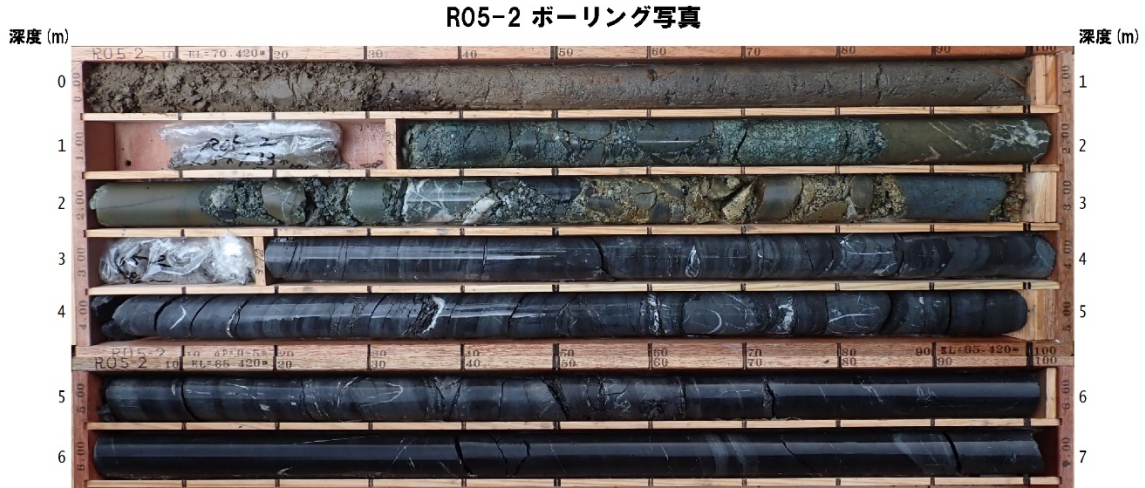
事業名 または 工事名 令和5年度 次期広域最終処分場予備調査及び支援等業務

調査目的及び調査対象 資源備蓄・廃棄物貯蔵 構造物基礎

ボーリング名	R05-1	調査位置	宮崎県東郷町西郷田代花水流域地区			北緯	32° 25' 55.5031"	
発注機関	日向東白井広域連合			調査期間	2023年 6月 3日 ~ 2023年 6月 9日		東経	131° 26' 56.1939"
調査業者名	株式会社 建設技術研究所 電話 (092-714-2211)	主任技師	林 正樹 地盤技術士 登録番号	現代理人	中島 教陽 地盤技術士 登録番号 第118325号	コピャ者为広 達	ボーリング者	石塚 広美 地盤技術士 登録番号
孔口標高	口. 95.22m	角 上下 0°	方位 北1° 西 東 15° 15°	地盤勾配 鉛直 90° 22°	使用機器 試験機	YBM-05	エンジン	ヤンマー NFD-10
総削孔長	29.00m	ポンプ		トップ NF				

標尺 (m)	標高 (m)	深 度 (m)	現場土質名 (横線)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	地質時代名	記 事	標準貫入試験						試料採取	室 内 試 験	削 孔 日						
											深度-N値図									深 度 (m)	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	
1	84.47	0.75	表土	表土	表土	茶褐色				深さ0.00~0.75m、角礫混じりの粘性土層が認められる。ナイフにて容易に切り取ることが出来る。	0	1	1.17	1	2	3									
2	83.72	2.00	凝結化溶結灰岩	凝結化溶結灰岩	凝結化溶結灰岩	茶褐色				深さ2.00mまでは、形質シルトが認められる。手作業で良いが、ナイフにて容易に切り取ることが出来る。	0	1	3.45	1	2	3									
3			風化溶結灰岩	風化溶結灰岩	風化溶結灰岩	茶褐色				深さ2.60~5.45m、風化を受けた溶結灰岩が認められる。全体的にデュースキングがあり、ナイフが容易に刺さる。上部より締まっている。	0	7	3.45	2	2	3									
4						茶褐色						25	3.45	6	9	10									
5	86.77	5.45				茶褐色						40	3.45	10	15	20									
6						茶褐色						45	3.45	15	15	20									
7						茶褐色						50	3.45	15	20	25									
8						茶褐色						55	3.45	15	20	25									
9						茶褐色						60	3.45	15	20	25									
10						茶褐色						65	3.45	15	20	25									
11						茶褐色						70	3.45	15	20	25									
12						茶褐色						75	3.45	15	20	25									
13						茶褐色						80	3.45	15	20	25									
14						茶褐色						85	3.45	15	20	25									
15						茶褐色						90	3.45	15	20	25									
16						茶褐色						95	3.45	15	20	25									
17						茶褐色						100	3.45	15	20	25									
18						茶褐色						105	3.45	15	20	25									
19						茶褐色						110	3.45	15	20	25									
20						茶褐色						115	3.45	15	20	25									
21						茶褐色						120	3.45	15	20	25									
22						茶褐色						125	3.45	15	20	25									
23	72.77	22.95	火山灰	火山灰	火山灰	灰褐色				深さ22.00~22.95mの下部付近では、再びデュースキングが発見する。	130	3.45	15	20	25										
24	71.67	23.80	切草堆積物	切草堆積物	切草堆積物	灰褐色				深さ2.95~23.80mでは、断続的に灰褐色を呈する第三層のシルトが認められる。断面にて容易に成形する。深さ23.80mを制層時に検出が認められた。	135	3.45	15	20	25										
25						灰褐色						140	3.45	15	20	25									
26						灰褐色						145	3.45	15	20	25									
27	67.77	27.45	頁岩	頁岩	頁岩	黒				深さ23.80~27.45mでは、縦径約1~10cm程度の黒色の砂礫層が認められる。縦径が全体的に締めまりが悪く、脆と分離する。	150	3.45	15	20	25										
28						黒				深さ27.45~29.00mでは、黒色の頁岩が認められる。柱状コアが張められるが、薄層片状である。全体的に黒色の頁岩が分布するが、断面にて容易に成形する。	155	3.45	15	20	25										
	66.22	29.00				黒				内線区分 深さ27.45~28.50m、CL48 深さ28.50~29.00m、CL48	160	3.45	15	20	25										

## 2. 地点 R05-2



### 土質ボーリング柱状図 (標準貫入試験)

<b>調査名</b>	令和5年度 次期広域最終処分場予備調査及び支援等業務
<b>事業名 または 工事名</b>	令和5年度 次期広域最終処分場予備調査及び支援等業務
<b>調査目的及び調査対象</b>	資源備蓄・廃棄物貯蔵 構造物基礎

<b>ボーリング名</b>	R05-2	<b>調査位置</b>	宮崎県美郷町西郷田代花水流地区	<b>北緯</b>	32° 25' 53.1942"
<b>発注機関</b>	日向東白竹広域連合	<b>調査期間</b>	2024年 6月 13日 ~ 2023年 6月 21日	<b>東経</b>	131° 26' 56.9314"
<b>調査業者名</b>	株式会社 建設技術研究所 電話 092-714-2211	<b>主任技師</b>	林 正樹 地質調査技士	<b>現場代理人</b>	中島 教陽 地質調査技士 第18325号
<b>コ定者</b>	為広 達 地質調査技士	<b>ボーリング責任者</b>	石塚 広美 地質調査技士		
<b>孔口標高</b>	EL. 70.42m	<b>方位</b>	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	<b>地盤勾配</b>	水平0° 鉛直90°
<b>総削孔長</b>	7.00m	<b>使用機種</b>	試験機 YBM-05 エンジン ヤンマー NFD-10	<b>ポンプ</b>	トップ NF

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	地質記号	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験						試料採取	室内位置試験	削孔月日		
												深度	N値	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量				深試験番号	採取方法
0.55	69.87	0.55	沖積堆積物	沖積堆積物		褐色					0.55	1.11	13	37	50	180						
1.33	69.09	1.33	砂質シルト	間隙堆積物		緑灰色					1.33	1.33	50	0	50	0						
3.18	67.24	3.18				黒色 (一部暗灰)					3.18	2.00	0	0	0	0						
5.00											5.00	500	30	50	30	30						
7.00	63.42	7.00									7.00	4.00	0	50	0	0						
												6.00	50	0	50	0						
												6.00	50	0	50	0						
												6.00	50	0	50	0						
												7.00	50	0	50	0						
												7.00	50	0	50	0						

### 3. 地点 R05-3

R05-3 ボーリング写真



# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 令和5年度 次期広域最終処分場予備調査及び支援等業務

事業名または工事名 令和5年度 次期広域最終処分場予備調査及び支援等業務

調査目的及び調査対象 資源備蓄・廃棄物貯蔵 構造物基礎

ボーリング名	R05-3	調査位置	宮崎県美郷町西郷山代花水流地区	北緯	32° 25' 49.9192"
発注機関	日向東臼杵広域連合	調査期間	2023年 5月 19日 ~ 2023年 5月 26日	東経	131° 26' 55.3509"
調査業者名	株式会社 建設技術研究所 電話 092-714-2211	主任技師	林 正樹 建設技師	現代理人	中島 教陽 建設技師 第18325号
孔口標高	EL. 91.27m	角	180° 上下 0°	コ定者	為広 産 建設技師
総削孔長	25.00m	方位	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	ボーリング責任者	石塚 広美 建設技師
		地盤局記	鉛直 90°	試験機	YBM-05
		使用機種		エンジン	キャンマー MFD-10
				ポンプ	トップ NF

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	地質時代	記号	標準貫入試験				試験採取	室内位置試験	削孔月日	
									深度-N値図	N値	100mmごとの打撃回数	50回ごとの貫入量				
1			黄褐色泥状黄土	高色					0	1.45	1	1	6			
2				赤褐色					1	3.18	1	1	1			
3									2	3.18	1	1	2			
4									3	4.15	1	1	3			
5	85.87	5.43			赤				4	4.15	1	1	4			
6	81.82	6.43	黄褐色砂状黄土						5	5.15	2	3	4	9		
7									6	5.15	13	9	28	50		
8									7	5.15	26	25	50	250		
9									8	5.15	30	30	50	150		
10									9	5.15	34	34	50	16		
11									10	5.15	38	38	50	30		
12									11	5.15	42	42	50	20		
13			赤褐色黄土		暗赤				12	5.15	46	46	50	0		
14									13	5.15	50	50	50	0		
15									14	5.15	54	54	50	0		
16									15	5.15	58	58	50	0		
17									16	5.15	62	62	50	0		
18									17	5.15	66	66	50	0		
19									18	5.15	70	70	50	0		
20	70.63	20.64							19	5.15	74	74	50	0		
21	70.47	21.00	灰土		暗赤~灰				20	5.15	78	78	50	0		
22									21	5.15	82	82	50	0		
23			同層地層		暗赤				22	5.15	86	86	50	0		
24	66.62	24.67	礫物		黒				23	5.15	90	90	50	0		
	66.27	25.00	頁岩						24	5.15	94	94	50	0		